

自民党総裁選・各候補のアンケート回答（ジェンダー関連）

質問	河野太郎氏	岸田文雄氏	高市早苗氏	野田聖子氏
選択的夫婦別姓	賛否を留保 「国会での議論が大切。1人の政治家としては賛成」	賛否を留保 「個性と多様性を尊重する社会を目指すのが、家族の絆の大切さとの両面で、国民の間で丁寧に議論すべきだ」	反対	賛成
同性婚	賛否を留保 「憲法上の課題もある。1人の政治家としては賛成」	賛否を留保 「家族の在り方の根幹に関わる問題で、国民の間で丁寧に議論すべきだ。賛成の段階に至っていない」	反対	現時点では反対 「一気に進めると差別を助長。憲法改正が必要」
LGBT理解増進法案	賛否を留保 「1人の政治家としては、国会で積極的に審議されるべきだと考える」	賛否を留保 「家族の在り方の根幹に関わる問題で、国民の間で丁寧に議論すべきだ」	反対	賛成 「反対する理由はない。国民全体の理解を進めるべきだ」
議席や候補者の一定数を女性に割り当てるクオータ制	賛否を留保 「女性の議員が少ないことは課題だが、あらゆる方策を検討すべきだ」	反対 「数値目標などを掲げ、努力する必要がある」	反対	賛成 「憲法改正が必要。他の制度と組み合わせで段階的に進める」
ジェンダーギャップ解消への考え（自由記述）	同一労働同一賃金の実現。男性の育児参加やテレワークを含めた働き方改革で、女性が自分自身でキャリア形成できる環境を整備	女性の健康診断の推進、男性の育児休業の取得率向上、保育の受け皿や学童保育制度の拡充	性別を問わず能力が適正に評価され、誰もが活躍できる環境作りの推進。待機児童の減少、病児保育の拡充、多子世帯への支援充実。ベビシッターや家政士の利用代金の一定割合を税額控除の対象化	家事や育児分野の男性負担比率を上げる。出産・育児で離職期間のある女性に不利な、日本特有の年功序列・定年制を廃止

* 賛成は青、反対は赤、賛否留保はオレンジに色分けしています